



「信 ～青春夢奏～」それを“夢へのちから”へ…

10月19日(土)、多くの保護者の皆様のご参加をいただき、令和6年度合唱コンクールを盛大に開催することができましたことを、心より感謝申し上げます。

約20名を指揮者、伴奏者、そして3パートに分けるのは至難の業です。しかし、そのような逆境を言い訳にせず、この日を迎えるまで、子どもたちは一人ひとりの歌声を重ねて美しい合唱を奏でたいとの願いをもち、クラス一丸となつての歩みを進めてきました。どのクラスにもそれぞれのドラマがあり、その歩みは決して順風満帆と言えるものでなかったからこそ、歩んできた道のりは本当に価値のある尊いものなのだと思います。

当日、ステージに立つ子どもたちの姿は堂々としてとても頼もしいものでした。また、他のクラスの合唱を聞く鑑賞者としての態度も立派でした。お互いの演奏と頑張ってきた歩みを大切にしようとする心で、全校生徒が学校行事を共創できていると感じ、胸が熱くなりました。

子どもたちの奏でる合唱が、時代を越えてたくさんの人の心をつなぎ、それが「夢へのちから」となつて、輝く未来へとつながっていく。そんな期待が膨らむ素晴らしい合唱コンクールとなりました。



お知らせ

◇ 職員について

10月10日から育児休業を取得した〇〇先生の代替として、2名の教員が着任しています。〇〇〇〇先生が非常勤講師として任用になり、1年生の社会科の指導を行っています。

また、今月から〇〇〇〇先生が非常勤講師として任用になり、1年生の授業補助等、生徒管理面で指導を行います。



豊かな心

合唱コンクールの振替休業日である21日(月)に、15名の希望生徒が、高松市庵治町の大島青松園を訪問し、リーダー研修を行いました。9月の生徒会朝礼で、担当者がハンセン病についての説明を行い、希望者を募りました。当日は、港間の官有船での移動を含め、資料館や島内を見学し、回復者の話を聞くこともできて、貴重な経験となりました。今後、参加者は体験レポートをまとめ、12月の人権集会にて全校生への報告を行う予定です。ご苦労様でした！

